

政令指定都市におけるごみ処理基本計画の理念、基本方針、数値目標等

都市名	計画期間	理念(基本目標)	基本方針等	数値目標				数値実績
				項目	基準年度	中間目標年度	目標年度	最新調査年度
札幌市	平成26～29年度 (4年間)	環境低負荷型資源循環社会(都市)の実現	1 発生するごみ量を低減するとともに、ごみ処理に伴う環境負荷をできる限り少なくする 2 費用対効果を十分考慮し、かかる費用を最小限に抑える 3 市民・事業者・札幌市の協働によるごみ減量・リサイクルの取組を推進する		平成24年度	—	平成29年度	平成26年度
				廃棄ごみ量全体の減量目標	49万t	—	46万t	481,858t
				家庭ごみ排出量(1人1日あたり)	413g	—	380g以下	405g
				家庭から出る生ごみの量	11.4万t	—	1.0万t以上減量	11.1万t
				リサイクル率	26.7%	—	30%以上	—
				焼却ごみ量	43.8万t	—	2.8万t以上減量	434,364t
				埋立処分量	9.8万t	—	2万t以上減量	94,184t
仙台市	平成21～32年度 (12年間)	1 資源循環都市づくり～更なる循環型社会の構築 2 低炭素都市づくり～低炭素社会の構築に向けた統合的な取り組みの推進 3 市民・事業者・市の連携や三者が一体化した施設の推進		平成21年度	平成27年度	平成32年度	平成25年度	
			ごみ総量	370,000t	348,200t	330,000 t以下	390,383t	
			リサイクル率	100,000t	35% (114,600t)	40%以上 (120,000t)	29.9%	
			燃やすごみの量	320,000t	293,200t	267,000 t以下	—	
さいたま市	平成24～33年度 (10年間)	ともに取り組み、参加する めぐるまち(循環型都市) “さいたま”の創造		平成22年度	平成28年度	平成33年度	平成26年度	
			ごみ排出量(1人1日あたり)	944g	897g(5%削減)	850g(10%削減)	928g	
			市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量	549g	522g(5%削減)	494g(10%削減)	529g	
			最終処分比率	7.4%	6%以下	4%以下	6.1%	
横浜市	平成21～37年度 (17年間) ※第2期推進計画はH26-29	市民・事業者・行政が更なる協働のもと、3Rを推進するとともに、なお残るごみを適正に処理することで、限りある資源エネルギーの有効活用と確保に努め、環境モデル都市として、環境負荷の低減と健全な財政運営が両立した持続可能なまちを目指します。		平成21年度	平成29年度	平成37年度	平成26年度(※平成25年度)	
			温室効果ガス排出量	28.2 万t	21.1万t	14.1 万t	23.2万t	
			総排出量(ごみと資源の総量)	127.5万t	121.1万t	114.7万t	1,238,020t	
			ごみ量	93万t	88万t	71万t	887,600t※	
			資源化量	35万t	36万t	44万t	342,130t※	
			焼却量	92万t	87万t	70万t	894,442t※	
			焼却灰量	13万t	10万t	7万t	132,554t※	
			焼却灰資源化処理量	1万t	3万t	4万t	4,007t※	
			最終処分量	13万t	10万t	7万t	132,554t※	
			1人1日当たりのごみ排出量	1,308g	1,041g	980g	1,006g	
川崎市	平成17～27年度 (11年間)	地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して		平成15年度※	平成22年度	平成27年度	平成25年度	
			資源化量(資源化率)	12万t(19%)	12.9万t(24%)	20万t(35%)	29%	
			ごみ焼却量	50万t	41万t	37万t	377,363t	
			温室効果ガス排出量(削減率)	167,255t	222,030t	109,538t	170,384t	
相模原市	平成25～30年度 (5年間)	ともにつくる 資源循環型都市 さがみはら		平成18年度	—	平成30年度	平成25年度	
			市民1人1日あたりの家庭ごみ排出量	631g	—	480g以下	530g	
			ごみ総排出量	271,815t	—	223,000t以下	233,798t	
			リサイクル率	18.1%	—	25%以上	21.1%	
			最終処分量	33,324t	—	21,000t以下	22,922t	
新潟市	平成24～31年度 (8年間)	市民・事業者・市の協働のもとともにつくる環境先進都市		平成22年度	平成28年度	平成31年度	平成25年度	
			家庭系ごみ量(1人1日あたり)	494g	484g	474g	501g	
			事業系ごみ排出量	84,393t	79,300t	74,500t	84,962t	
			リサイクル率	27.0%	29.8%	30.9%	27.2%	
静岡市	平成27～34年度 (8年間)	「もったいない」で目指す循環型のまちづくり		平成25年度	平成30年度	平成34年度	平成25年度	
			ごみ総排出量(1日1人あたり)	1,008g	926g	860g	1,019g	
			1人1日あたりの家庭系ごみ総排出量	727g	673g	635g	735g	
			事業系ごみ量	73,717t	63,705t	55,106t	73,717t	
浜松市	平成26～40年度 (15年間)	ともに歩む3Rとごみ減量の道 ～go forward(前へ)～		平成24年度	平成30年度	平成40年度	平成26年度	
			1人1日あたりごみ排出量	966.9g	866g	843g	890g	
			リサイクル率	19.8%	23.6%	30.6%	20.3%	
			最終処分量	16,167t	13,816t	12,728t	—	
名古屋市	平成20～32年度 (13年間)	「環境首都なごや」の挑戦		平成18年度	平成27年度	平成32年度	平成25年度	
			総排出量	108万t	105万t	104万t	94万t	
			資源分別量	38万t	47万t	50万t	31万t	
			ごみ処理量	70万t	58万t	54万t	63万t	
埋立量	10万t	4万t	2万t	5万t				

都市名	計画期間	理念(基本目標)	基本方針等	数値目標				数値実績
				項目	基準年度	中間目標年度	目標年度	最新調査年度
京都市	平成27～32年度 (6年間)	市民力・地域力が築く世界を リードする環境モデル都市・京都	1 そもそもごみを出さない 2 ごみは、資源可能な限りリサイクル 3 ごみは安全に処理して最大限活		平成25年度	—	平成32年度	平成26年度
				市受入量(1人1日あたり)	47.2万t(880g)	—	39万t(730g)	461,415t(860g)
				ごみ焼却量	44万t	—	35万t	—
				市処理処分量	45万t	—	36万t	—
				市最終処分量	6.4万t	—	5.2万t	—
				食品ロス排出量	6.7万t	—	5万t	—
				レジ袋排出量	3,200t	—	1,800t	—
				乾電池排出量	300t	—	250t	—
				紙ごみ排出量	14万t	—	10万t	—
				プラスチック製容器包装の分別実施率	36%	—	60%	—
				乾電池回収率	28%	—	50%	—
				蛍光管回収率	27%	—	50%	—
				木質ごみの排出量(持込)	1.4万t	—	1万t	—
				温室効果ガス排出量	12万t	—	8万t	—
大阪市	平成24～27年度 (3年間)	「さらなる3Rの推進」と 「経営形態の抜本的改革」	1 3Rの推進 2 市民・事業者との連携の推進 3 民間化・広域化の推進(経営形態の抜本的改革) 4 適正処理の推進 5 環境への配慮		平成22年度	平成27年度	平成37年度(将来的目標)	平成25年度(※平成26年度)
				3R推進量(減量化量) 【発生抑制・再使用量及び資源化量】	28万t	44万t	51万t	—
				ごみ処理量	115万t	100万t以下	90万t	93.7万t※
				最終処分量	21万t	17万t	15万t	14.8万t※
				焼却余熱による発電	約4億5千万kWh	—	—	約4億8千万kWh
				温室効果ガス排出量	49万t	42万t	39万t	—
					平成16年度	平成22年度	平成27年度	平成25年度
堺市	平成18～27年度 (10年間)	三者協働による環境負荷の少ない循環型のま ちづくりをめざして	1 「ごみ」の発生・排出が抑制されるシステムづくり 2 「製品」等が再利用されるシステムづくり 3 「資源」が循環的に利用されるシステムづくり 4 「環境」への負荷が少ない適正処理のためのシステムづ くり	1人1日あたりの家庭系ごみ量	785g	665g	655g	683g
				1日あたりの事業系ごみ量	444t	419t	399t	350t
				リサイクル率	13.1%	24.5%	28.0%	17.8%
					平成20年度	平成27年度	平成32年度	平成25年度
神戸市	平成23～32年度 (10年間)	「もったいない！」で築く 循環型都市”こうべ”	1 循環型社会構築のための基盤づくり 2 2R(リデュース:発生抑制・リユース:再使用)の推進 3 再生利用(リサイクル)の推進 4 環境負荷の低減に配慮した適正処理の推進	ごみ発生量	76万t	67万t	65万t	643千t
				廃棄物処理事業からの温室効果ガス排出量	267千t	179千t	176千t	230千t
				市民1人1日あたりのごみ処理量	1,090g	820gt	770gt	866g
					平成22年度	平成27年度	平成37年度	平成25年度
岡山市	平成24～37年度 (14年間)	環境に配慮した持続可能な資源 循環型社会の構築	1 ごみゼロ社会に向けた4Rの促進 2 市民・事業者・行政による参加・協働の促進 3 市民サービスの向上 4 事業系ごみの減量化・資源化 5 環境教育の充実	1人1日あたりのごみ量	837g	787g	720g	850g
				資源化率	16.1%	23.3%	33.0%	17.6%
					平成25年度	平成31年度	平成36年度	平成25年度
広島市	平成27～36年度 (10年間)	ゼロエミッションシティ広島の実現	1 市民・事業者・行政が一体となったごみの減量とリサイク ルの推進 2 安定的なごみ処理体制の確保 3 分別区分・収集運搬体制の再構築 4 コストの削減 5 ごみのないきれいなまちづくりの推進	1人1日あたりのごみ量	859g	826g	785g	859g
				総排出量	371,937t	359,000t	337,000t	371,937t
				焼却量	303,687t	298,000t	285,000t	303,687t
				埋立量	55,859t	49,000t	40,000t	55,859t
					平成21年度	平成27年度	平成32年度	平成25年度
北九州市	平成23～32年度 (10年間)	市民・事業者・NPO・行政など地域社会を構成 する各主体が主体的・協動的に3R・適正処理 に取り組むことを通じ、「持続可能な都市のモ デル」を目指します。	1 最適な「地域循環圏」の構築 2 低炭素社会、自然共生社会への貢献 3 環境国際協力・ビジネスの推進	市民1人1日あたりの家庭ごみ量	506g	495g	470g	505g
				リサイクル率	30.4%	32.5%	35.0%	25.9%
				一般廃棄物処理に伴い発生するCO2排出量	122千t	115千t	100千t	—
					平成21年度	平成27年度	平成37年度	平成25年度
福岡市	平成24～37年度 (14年間)	元気が持続する循環のまち・ ふくおか	1 循環型社会づくりのさらなる推進 2 処理の優先順位に基づく適正処理の推進 3 持続可能な社会の実現に向けた施策の推進	ごみ削減量	58万t	52万t	47万t	569,181t
				ごみのリサイクル率	28%	32%	38%	30.5%
					平成21年度	—	平成32年度	平成26年度
熊本市	平成23～32年度 (10年間)	市民・事業者・行政の三者協働により、ごみを出 さない、資源を生かす、循環型社会の構築を 目指します。	1 ごみ減量・リサイクルへの積極的な参画と協議を推進し ます 2 発生抑制・再使用・再生利用の取組を促進します 3 適正かつ環境に配慮したごみ処理体制の確立に努めま す	市民1人1日当たりのごみ排出量	1,037g	—	881g	924g
				市民1人1日当たりの家庭ごみ処理量	562g	—	450g	478g
				家庭ごみのリサイクル率	16.5%	—	30%	21.5%
				事業ごみの排出量	94,544t	—	70,908t	88,710t
				年間のごみ埋立処分量	6,818t	—	4,432t	5,599t
千葉市	平成24～33年度 (10年間)	まだできる！ともに取り組む ごみ削減・一歩先へ	1 市民・事業者・市の協働によるごみを出さない社会づくり を推進します。 2 分別の徹底・推進・拡充による高度な資源化への挑戦 により、焼却ごみの継続的な削減を目指します。 3 低炭素・資源循環へ貢献する、経済・効率性と安定・継 続性に優れたシステム構築を目指します。		平成24年度	平成28年度	平成33年度	平成26年度
				総排出量	385,652t	372,000t	364,000t以下	369,127t
				焼却処理量	264,640t	227,000t	220,000t以下	250,531t
				再生利用率	32%	42%	43%以上	33.4%
				最終処分量	30,856t	18,000t	17,000t以下	20,972t
				温室効果ガス排出量	98,610t	86,000t	83,000t以下	91,534t